

PROJECT MANAGE MENT

**ストーリーでつかむ!
プロジェクトマネジメントの原則**

株式会社ノースサンド ディレクター

谷岡 悟一



はじめに

この本では、「最新のプロジェクトマネジメント手法を知りたい・担当しているプロジェクトを成功させたい」というプロジェクトマネジメントの初級者から中級者を対象とし、プロジェクトマネジメントの世界標準となっているPMBOKガイドに基づきながら、プロジェクトの全体像・プロジェクトマネジメントの考え方や手法をご紹介します。

著者は現役のITコンサルタントとして約20年の経験があり、この執筆時点でも現場でクライアントに対してプロジェクトマネジメントサービスを提供しています。また、延べ千人以上にPMBOKガイド3版から最新の7版までPMP資格対策講座や、初級・中級向けの研修を10年以上開催してきました。

この過程で多くの方から「プロジェクトマネジメント力を向上させたいが、何から勉強すればよいか」というご相談を受けました。この回答としては、「理想を言えば、数人規模の小さなプロジェクトを複数回実行してみること。プロジェクトは、人、スケジュールやお金など複数の要素が絡み合っていて、同じものは一つもない。総合的に考えていく力を身に付けていくこと」となるのですが、個々人のスキルアップのためだけにプロジェクトを走らせるわけにもいきません。

そこで、小説形式の本を作り、プロジェクトマネジメントを疑似体験してもらおうという

結論にいたりました。小説の中には、「プロジェクトマネジメントの原理・原則」プロジェクト「ト憲章」といった耳慣れない言葉が多く出てくると思います。それぞれは、小説の後に解説をしていますので、分からない言葉があったとしてもまずは小説を楽しんでみてください。一度、小説を堪能した後に、解説パートで必要な不明点を学ぶことで、記憶に残りやすく、効率的な学習が可能となります。

なお、PMBOKガイド6版までを手に取りられたことのある方であればお気づきかと思いますが、小説はPMBOKガイド6版までの「プロジェクトの立ち上げ・計画・実行・監視とコントロール（チェック）・終結」という時系列順で書いています。一方で最新のPMBOKガイド7版は、それまでと異なり、12の原則・8つの活動領域と手法が紹介されています。PMBOKガイド7版に沿うと、プロジェクトの最初から最後まで、どんな順序で進んでいくか、何をすべきかが分かりにくいため、時系列で小説を進め、必要な場面で7版の内容に触れるという書き方としています。

また解説パートは、PMBOKガイド全文を載せることはもちろんできませんので、筆者の意識とさせていただきます、より勉強熱心な方は同書を購入されることをおすすめします。

それでは、小説からお楽しみください。

はじめに..... 2

登場人物紹介..... 8

小説編



CHAPTER 1 立ち上げフェーズ

STEP 01 プロジェクトマネージャーの任命..... 12

STEP 02 プロジェクト憲章..... 17

STEP 03 目的を達成するためのソリューションと専門家..... 37

CHAPTER 2 計画フェーズ

STEP 04 プロジェクトチーム作りを計画する..... 60

STEP 05 プロジェクト進捗会議の設定..... 82

STEP 06 プロジェクトマネジメント計画書の作成……………105

CHAPTER 3 実行フェーズ

STEP 07 QCCDSを見ながらプロジェクトを推進する……………114

STEP 08 顧客の要求を確認しつつ状況に対応していく……………131

STEP 09 各成果物やタスクの予定と実績を比較していく……………149

STEP 10 プロジェクト全体を見直し予実の分析を行う……………163

CHAPTER 4 チェックフェーズ

STEP 11 QCCDSを指標化してチェックしていく……………170

STEP 12 本番に備えて定期的なリスクの分析を行う……………181

CHAPTER 5 終結フェーズ

STEP 13 プロジェクトを振り返り教訓や資料を蓄積する……………204

解説編



プロジェクトマネジメントの基本	212
プロジェクトマネジメントのトレンド	215
プロジェクトマネジメント12の原理・原則	221
8つの活動領域（パフォーマンスドメイン）	237
テラリング	251
ツール・手法・各種資料	252
おわりに	278

ブックデザイン
イラスト
編集協力
制作
校正

都井美穂子
くぼあやこ
坂本洋平・東谷昂
荒好見
株式会社RUHIA

汐北高校演劇部

桜小路陽葵

さくらこうじひまり

桜小路姉妹・双子の妹。姉とは対比的に、感性よりも理論を好む。部活では裏方として照明と音響を担う。

一島陸

いちじまりく

責任感が強く情熱的な高校2年生。島の人々と自然をこよなく愛す穏やかな青年だが、猪突猛進で周りを顧みないところがたまにさず。

山井豪

やまいごう

演劇部唯一の3年生であり部長。通称オネエ。現在は主に舞台監督として大道具や照明、音響といった裏方の統括役として動いている。



細谷真子

ほそやまこ

もとは新聞部所属。リサーチや細やかな作業が得意。陸のプロジェクトに協力することになり、演劇部の広報になる。

黒崎夢花

くろさきゆめか

離島に育ったお嬢様。女優を目指している。明るいムードメーカーのような存在。役者だけではなく美術とメイクも担当する。

桜小路朱莉

さくらこうじあかり

桜小路姉妹・双子の姉。感性豊かな女の子で、芸術的なセンスに優れている。演劇部では役者・演出を務めており、脚本を執筆することもある。

汐北高校教員

石丸舞香

いしまるまいか

陸の担任教師であり、演劇部の顧問。生徒たちから舞香にちなんで「マイケル」と呼ばれている。穏やかで面倒見のいい性格。



安西康成

あんざいやすなり

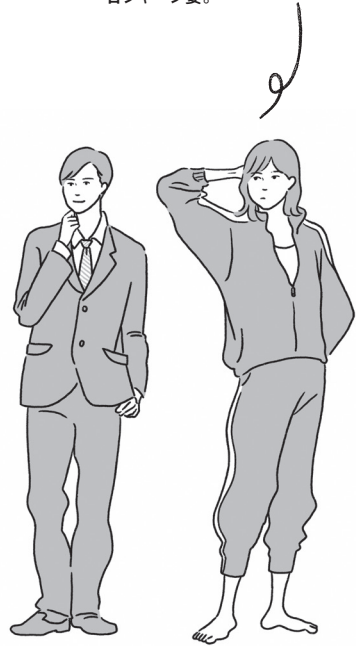
汐北高校の校長先生。品格があつて礼儀正しい。包容力があつて懐も深い。



一島未来

いちじまみらい

陸の姉。演劇部のOG。都心で働いていたが、突然島に帰ってくる。ミスキャンパスに選ばれるほどの美貌だが、帰島後は毎日ジャージ姿。



野間口実

のまぐちみのる

汐北高校の教頭先生。心配性で神経質。胃腸が弱いためストレスですぐにお腹を壊す。

島村海里

しまむらかいり

陸の幼馴染であり親友。友情を重んじる性格。陸にライバル意識を持ち、陸とは互いに刺激を与え合う関係性。

【本書に記載のある内容・単語について】

PMI® (Project Management Institute)

全世界のプロジェクトマネジメントの普及を目的とする米国「プロジェクトマネジメント協会」を指す。

PMP® (Project Management Professional)

PMI®が認定している「プロジェクトマネジメントに関する国際資格」を指す。
PMP®試験は、受験者のプロジェクトマネジメントに関する経験、教育、知識を測り、プロフェッショナルとしての確認を目的として実施される。

PMBOK® (Project Management Body Of Knowledge)

PMI®が発表している「プロジェクトマネジメントの知識体系」を指す。

本書は、Project Management Institute (PMI®), Inc.発行の A Guide to the Project Management Body of Knowledge, (PMBOK®® Guide) – Sixth Edition (2017),および Seventh Edition (2021) Project Management Institute Inc. に基づいて作成しています。PMBOK®, PMI®, PMP®は、PMI®, Inc. の登録商標です。

なお、本文内では、®表記を省略させて頂きました。